

事件・事故の原因を探るために —臨床検査の応用を考える—

巻頭言—外因死の一次予防を目指して— …………… 一杉 正仁 …… 巻頭

第1章 総論

1. 不慮の事故の発生状況…………… 福本 正勝 …… 1
2. わが国の犯罪事情…………… 大島 徹 …… 4
3. わが国の死因究明制度について…………… 藤宮 龍也 …… 10

第2章 各論

1. 産業中毒事故と検査…………… 宮越 雄一、他 …… 19
2. 不慮の中毒と検査…………… 阪本奈美子、他 …… 27
3. アルコール中毒と検査…………… 井出 文子、他 …… 35
4. 一酸化炭素中毒による自殺—現状と予防対策について— …… 一杉 正仁 …… 40
5. 交通外傷患者をめぐる検査…………… 一杉 正仁 …… 45
6. 死因究明における病理解剖の役割…………… 堤 寛 …… 53
7. 死因究明と死後画像診断…………… 岩瀬博太郎 …… 59
8. 犯罪捜査と DNA 検査…………… 高橋 雅典 …… 66

付録

1. 医療安全調査委員会設置法案(仮称)大綱案…………… 71
2. 運輸安全委員会(旧 航空・鉄道事故調査委員会)…………… 80

索引…………… 巻末

事件・事故の原因を探るために — 臨床検査の応用を考える —

目 次

巻頭言—外因死の一次予防を目指して— 一杉 正仁 … 巻頭

第 1 章 総 論

1. 不慮の事故の発生状況.....	福本 正勝 …	1
I. 国際疾病分類による「不慮の事故」.....		2
II. 今後の課題.....		2
2. わが国の犯罪事情.....	大島 徹 …	4
I. 犯罪件数および検挙率など.....		5
A. 認知件数.....		5
B. 検挙率.....		6
C. 平成 20 年(2008 年) 上半期の状況.....		6
II. 近年注目される犯罪.....		6
A. 児童虐待.....		6
B. ストーカー犯罪.....		7
C. 薬物乱用/依存.....		7
D. いわゆる「振り込め詐欺」.....		7
III. いわゆる通り魔犯罪.....		8
IV. 犯罪とわが国の社会状況.....		8
A. 日本社会の変質.....		8
B. パソコンやインターネット等の影響.....		8
C. ボーダレスの時代—外国人犯罪の増加.....		8
D. 犯罪捜査を取り巻く環境.....		9
V. 今後の課題.....		9
3. わが国の死因究明制度について.....	藤宮 龍也 …	10
I. 異状死の定義と届出基準.....		11
II. わが国の検死制度.....		12
A. 検視と法医解剖.....		12
B. 監察医制度と行政解剖.....		13

C. 監察医制度未施行地域の法医解剖	14
III. コロナー制度との比較	14
IV. 死因究明制度の改善点	15
A. 死因究明制度の目的の広義化	15
B. 死因究明の担当官庁の一本化	16
C. 検視局の設立と検視の中立化	16
D. 検死体制の充実化	16
E. 死因情報の活用・審議体制	16

第2章 各論

1. 産業中毒事故と検査	宮越 雄一, 他… 19
I. 産業中毒の定義と現況	19
II. 生物学的モニタリング	20
A. 労働安全衛生法に基づく特殊健康診断	20
B. 日本産業衛生学会の生物学的許容値	23
C. ACGIH の生物学的曝露指標 BEIs	23
III. 産業中毒の専門機関	25
A. 中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター	25
B. 東京労災病院 産業中毒センター	25
1. 診療	25
2. 研究・分析	25
3. 産業中毒情報	26
2. 不慮の中毒と検査	阪本奈美子, 他… 27
I. 有毒植物誤食による中毒	28
A. 川辺に自生していた野草をすすめられ調理	28
B. 自分で摘んできた山菜のおひたし	28
C. 売られていた毒キノコ	29
D. トリカブトによる自殺未遂	29
E. 生物毒のなかの植物毒	29
II. ヒ素中毒	30
A. 慢性ヒ素中毒と急性ヒ素中毒	30
B. 森永ヒ素入りミルク事件	30
C. 和歌山毒入りカレー事件	30
D. 神栖町井戸水汚染	30
E. ひじきを食べるとヒ素中毒になるか?	31
III. 硫化水素	32
A. 硫化水素中毒事故	32
B. 硫化水素とは	32
C. 自験例より	33

IV. 検体の取り扱いについて	33
3. アルコール中毒と検査	井出 文子, 他… 35
I. 体内での代謝・吸収	36
II. 診断・検査所見	36
A. 急性アルコール中毒の診断	36
B. 急性アルコール中毒の検査所見	37
1. 電解質・血糖・肝機能	37
2. アニオンギャップの開大	37
3. 浸透圧ギャップの開大	38
4. 心電図	38
III. 治療	38
IV. 症例	38
A. 飲酒後の中毒例	38
B. 家庭用品誤飲後の中毒例	38
4. 一酸化炭素中毒による自殺—現状と予防対策について—	一杉 正仁… 40
I. わが国における自殺の現状	41
II. インターネットを用いた集団自殺	42
III. 一酸化炭素中毒死の背景	42
IV. 練炭自殺と薬物の関与	43
V. 自殺予防に向けた取り組み	43
5. 交通外傷患者をめぐる検査	一杉 正仁… 45
I. Common injury としての交通外傷	46
II. 正確な交通外傷診療のために	47
A. 鈍的外傷が多い	47
B. 重症損傷が多い	47
C. 外表の損傷と内部損傷の程度が一致しない	47
D. 多発外傷が多い	48
E. 事故状況を考慮することで、ある程度の損傷が予測できる	48
III. 損傷を同定するために必要な知識	48
A. 自動車乗員	48
B. 二輪車乗員	49
C. 歩行者	49
IV. アルコールと交通外傷	50
V. 治療薬が交通外傷診療に及ぼす影響について	50
6. 死因究明における病理解剖の役割	堤 寛… 53
I. 日本の解剖制度と監察医の役割	54
II. 現行の検死制度の問題点	55
III. 死因究明における病理医の関与	56

IV. 新たな死因究明制度の構築を！ 57

V. 解剖医の育成と病理専門医のパラダイムシフト 57

7. 死因究明と死後画像診断.....岩瀬博太郎... 59

 I. 日本の死因究明制度の現状 60

 II. 日本の死因究明の歴史的経緯 60

 III. 日本の死因究明制度の複雑性、特殊性 61

 IV. 千葉県における変死・異状死の解剖について 62

 V. 千葉大学法医学教室における CT の試験的導入 62

 VI. 死後 CT の利点、欠点 62

 VII. CT 導入をめぐる動き 64

 VIII. 今後の展望について 65

8. 犯罪捜査と DNA 検査.....高橋 雅典... 66

 I. 犯罪捜査の試料となる DNA 検査の特徴 67

 II. わが国の警察における DNA 鑑定 67

 A. STR 多型 67

 B. 採用している STR 型検出システム 67

 1. 試料の抽出と PCR 増幅 68

 2. 電気泳動と型判定 68

 3. 型判定の評価および注意点 69

 III. 今後の展望 70

付 録

1. 医療安全調査委員会設置法案(仮称)大綱案 71

2. 運輸安全委員会(旧 航空・鉄道事故調査委員会) 80

索引 巻末